



虹色

令和元年 6 月 28 日

文京区立湯島小学校

第 5 学年 7 月号

5 年 1 組 森下 知子

5 年 2 組 鎌田 水都城

学んだことを家庭で活かす

1 学期も残り 3 週間となりました。

4 月から、高学年としてふさわしい行動や態度を、どのような場面でも発揮できる学年にしたいと願って指導を行ってきました。全校朝会や委員会では、「高学年としての自覚」が、立ち振る舞いに表れるようになってきています。また、先日の新体力テストや縦割り班活動では、上級生として、下学年に優しく接したり、掃除を手伝ったりする姿が見られました。

5 年生になり、新しく始まった家庭科では、調理実習を行いました。自立に向けて、自分でできることをどんどん増やして行ってほしいと思います。家庭科は、学習の中で一番、家庭での実践が行いやすい教科です。ぜひ習ったことをご家庭でも使えるように一緒に調理や裁縫に取り組んでみてください。



ゆで卵と小松菜のおひたしを作りました。

運針を行っています。

お知らせとお願い

○文京区小学校研究会研究授業について

3 日（水）に、文京区小学校研究会研究授業の算数が行われます。5 年生の下校は 2 時 40 分頃となります。

○東京都学力調査について

4 日（木）に、都学力調査が行われます。これは東京都の 5 年生が受ける調査です。以前配布した各教科出題内容を確認し、必要に応じて復習に取り組ませてください。また、コンパスを使いますので必ず持たせてください。

○保護者会について

10 日（水）は保護者会です。1 学期の児童の様子、通信表、夏休みの過ごし方、夏休みの課題、自由研究・科学研究、2 学期の行事（学習発表会等）について夏季休業中の予定についてお話しさせていただきます。15 時～15 時 40 分まで 5 年教室で行います。欠席される方は、連絡帳でお知らせください。

○水泳学習公開

7 月 1 日～17 日まで、水泳学習公開を行います。公開については先日配布されたお手紙をご覧ください。

○新花公園の水やり

夏季休業中に高学年は新花公園の水やりに取り組みます。学校で植えている草花を大切に育てるために、必ず一人一回お願いしています。7 月初旬に当番表を配布します。都合が悪い場合は各自日程変更をしていただいて構いませんが、変更した場合は担任までお知らせください。よろしくお願いします。

○防災引き渡し訓練

9 月 2 日（月）は、防災引き渡し訓練です。これは文京区学校防災計画に基づいて、幼稚園・小学校・中学校が一斉に行う引き取り訓練です。9 月 1 日は防災の日でもあり、自分の身を守る自助の精神育成の

ために、学校・地域・家庭が連携して繰り返し訓練を行うことは大変重要です。また、震度5弱以上の地震が発生した場合の避難訓練、及び保護者の方々への引き渡しを円滑に行えるよう、ご協力いただきたいと考えます。詳細は、配布する「引き渡し訓練について」をご覧ください。

○東京防災のマイ・タイムラインについて

東京防災の付属版になるマイ・タイムラインを配布いたします。風水害が多くなる季節の前に、各ご家庭でお読みにになり、お子様と災害や避難についてぜひお話し、ご活用ください。

○本校の教育についてのアンケート

7月に配布いたします。ご記入よろしくお願ひします。忌憚のないご意見をお書きください

7月の学習内容

教科	単元名・教材名	目標
国語	・しょうかいポスターを作ろう	○どのようなポスターを作るのか考え、伝える内容を考えるとともに、作ったポスターを読み合って交流する。
社会	・水産業のさかんな地域	○我が国の水産業について、資料を活用して調べ、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることや自然環境と深いかかわりをもって営まれていることを理解することができる。
算数	・合同な図形	○図形の合同な意味や合同な図形の性質などについて理解し、合同な図形をかくことができる。
理科	・人のたんじょう	○人は、母体内で成長して生まれることを理解することができる。
音楽	・音の重なりとひびき	○主旋律と低音がつくる音の重なりを聴き取り、その効果を感じ取って表現する。 ○和音がつくる音の響きを聴き取り、そのよさなどを感じ取って表現する。
図工	・ココロのいろ	○外国の作品を鑑賞する。色や形を自分なりの工夫をしてかく。
家庭	・はじめようソーイング	○裁縫道具の基本的な使い方を理解することができる。
体育	・水泳	○自己のねらいに適した課題をもって、クロール・平泳ぎの技能を身に付けることができる。
外国語活動	What time do you get up?	○一日の生活について聞いたり、言ったりすることができる。また、活字体の小文字を書くことができる。
総合	・自由研究に向けて ・笑顔あふれる世界へ	○自ら探究する課題を設定し、研究の進め方を考えることができる。 ○高齢者との交流を通し、福祉について考える